

助成先と助成対象活動

第六期 (令和5年度)

団体助成3件(団体の運営費に対する助成)

- 一般社団法人メッター
- NPO法人こどもセンターぬっく
- 越前表現あそび研究会

事業助成2件(特定の事業活動費用に対する助成)

- わかちあいの会和歌山 うめの花(高野山いのちの追悼法要)
- ブレイルフレンドリープロジェクト(点字アート作品展。講演会)

ご寄付と賛助会員

第六期 (令和5年度)

ご寄付件数 93件
賛助会員 32件
正味件数 116件 ご協力金額 3,747,913円

たくさんのご協力、ありがとうございます。認定のための基準には何種類かありますが、当法人は絶対値基準(年額3,000円以上の協力者が年平均100名以上)で申請しており、みなさまからの継続的なご支援が必要です。今後も引き続き、よろしく申し上げます

ご支援のお願い

1. ご寄付(1口1,000円。3口以上のご協力をお願いします。随時受付)

2. 賛助会員(個人 年会費3,000円、法人団体 年会費30,000円)

3月1日から翌2月28日までの1年単位です。年度途中での入退会の場合も、1年分の会費を頂いております。

詳細は、サイト内の「寄付受付」ページを御覧ください

<https://metta-f.or.jp/donation/>



認定 NPO 法人とは?

認定を受けた NPO 法人に対して寄付をした場合、寄付をした法人または個人が税制優遇を受けられる制度
相続または遺贈によって財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限までに認定 NPO 法人に寄付をした場合にも税制優遇が受けられます
税制優遇の具体的な内容は、税務署または税理士にご相談ください

発行者・連絡先

NPO法人メッターフレンズ(認定NPO法人)

〒550-0004 大阪市西区靱本町2-5-12 靱公園プライマリーワン1階

Web <https://metta-f.or.jp/> **Mail** info@metta-f.or.jp

Tel.06-6441-0872 (ロータスナーサリー内 タケゴシを呼び出して下さい)

facebook ページも更新中

<https://www.facebook.com/npometta.f>



令和6(2024)年7月発行



メッターフレンズ

ニュースレター 第4号

理事長 ご挨拶

理事長の柴義彰です。当ニュースレターをお読みくださりありがとうございます。
おかげさまで、当法人は、認定NPO法人となり2年を経ることができました。これもひとえにご支援頂いている皆様のおかげであります。ここに改めて御礼申し上げます。
皆様がお支払い戴いた会費や寄付金は、確定申告をすることによって税制上の優遇措置を受けることができます。
来年1月下旬になりましたら、本年12月までにご寄付戴いた分の領収書をお送りいたしますので、申告時にご活用頂けましたら幸いです。
これからも、苦しんでいる方、困っている方を支える人たちのサポートを続けて参ります。
今後とも、認定NPO法人メッターフレンズに対するご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

柴 義彰

ASOVIVA 訪問インタビュー

2024年2月28日、理事長の柴と副理事長の竹越がデモクラティックスクールASOVIVA!を訪問し、施設見学とインタビューを行いました。
ASOVIVA!を運営する特例認定NPO法人ASOVIVAさんには、2022年度に団体助成を行っています。
インタビューでは、法人の理事でスクールのスタッフでもある吉元かおりさんにご対応いただきました。



左より理事の吉元さん、代表理事の長村さん、弊社理事長 柴

ASOVIVA!は千早赤阪村(大阪府で唯一の村)でスタートの1年ほど運営し、現在の場所(大阪府南河内郡河南町)に移りました。こちらにきてもうすぐ4年になります。前の場所も今の場所も、古民家を借りて運営しています。

設立のきっかけは、吉元さんの娘さんが小学校5年生のときに学校に行かない選択をしたこと。子どもの居場所づくりのため、子どもとその保護者とスタッフが共同して設立しました。

デモクラティックスクールとは子どもの自主性や創造力を尊重することに重きをおいた教育を行う学校のことです。その先駆のサドベリーバレースクール(アメリカ・マサチューセッツ州)は50年以上の歴史があります。日本でもデモクラティックスクールまっくろくすけ(兵庫県神崎郡)、西宮サドベリースクール(兵庫県西宮市)などは20年ほどの歴史があります。

デモクラティックスクールでは、決まった時間割やカリキュラムがなく、子どもたちがミーティングで話し合っただけで今日やることや、スクールのお金の使い道を決めています。自分たちで出納帳をつけて、お金の管理もしています。スクール内での過ごし方や遊びのルールなど、どれもゼロから自分たちで考えています。多数決ではなく、意見が一致するまで話し合います。年齢が上の子どもは下の子どもにも分かる言葉で説明することで、話す力がついています。ある程度の年齢になると進路を考えるようになり、進学したいのに勉強ができなくて後悔する子どもがいます。悔しい思いをするのも良い経験で、勉強が必要なことを自分で分かった子どもは必死に勉強して追いつくことができます。

スクールから徒歩5分くらいにある元薬屋さんの店舗を「くつろぎ自由研究室」として、地域に開放しています。あみものサークルの会場に使ってもらったり、惣菜店やカフェを運営しています。スクールのある河南町寛弘寺地域は高齢化が進んでいて、買い物に困っておられる方も多く、惣菜店は喜んでもらっています。

今、登録している子どもは34名で、年齢は7才~18才です。毎日通っている子どもは15人ほどで、週1回程度来る子どもが10名ほど、ほかにはイベントのみ参加する子どもや休会中の子どもです。スタッフは3名で、ほかに建物の管理人兼ボランティアとして住み込みでいてくれる方が1名、ボランティア登録をしてくれている方が6名くらいいます。スクールに庭はありますが、かけっこなど思いっきり運動をするときには近隣の公園に出かけています。スクールに残る子どもと公園に出かける子どもの両方を見るにはスタッフの人数が必要なのですが、平日に来てもらえるボランティアの方がなかなか見つからず、苦労しています。

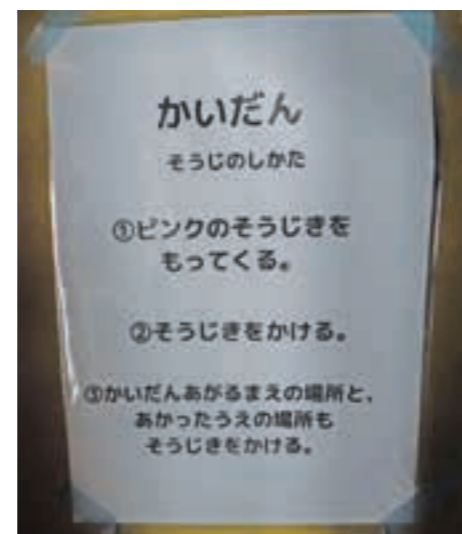
月謝は毎日通う場合は月3.5万円で、月2万円で5回まで通えるコースも用意しています。通常の学校では、半年や年間の学費を先払いして、途中でやめても返ってこないことが多いのですが、ASOVIVA!では月払いで月ごとに休会や再開をできるようにしています。これは、出入りのハードルを下げて、地域の学校に通ったりASOVIVA!に戻ったりすることを、子どもが気軽に選択できるようにとの思いがあります。「本人は辞めたいと言っているけど、先払いの学費をあきらめるのはもったいない」という保護者の気持ちはわかるので、そういった理由で子どもが縛られることのないようにしました。しかし、スクールを運営する立場で考えると、月謝収入が安定しないわけで、そのなかで家賃、光熱費やスタッフの人件費など、必要な経費を毎月支払っていくことは大変です。

メッターフレンズからの助成金は、スクールの運営費に活用させていただきました。スクールではいろんな大人に会う機会をつくるため、月に1回か2回、外部講師をお願いしています。例えば、猟師の方にイノシシをもってきてもらい、目の前で解体して肉を焼いて食べる「命の授業」をしてもらいました。そういった外部講師への謝礼にも活用させていただきました。

訪問した日は天気が良く、子どもたちが庭で元気に遊んでいる姿が印象的でした。



様々なジャンルの書籍が用意されている



掃除も子どもたちが行っている



「くつろぎ自由研究室」は、薬屋の当時の外観をそのまま残している



カフェや惣菜店、サークル活動の場として利用されている